

# 新飯能

発行 日本共産党  
飯能市委員会  
973-1091

金子とし江  
090-7265-1601  
山田とし子  
090-4389-4439  
新井たくみ  
090-4010-5650  
滝沢おさむ  
090-7000-4481

<議員団の連絡先>  
973-2111(市役所456)  
Mail [jcp-sigi@pluto.plala.or.jp](mailto:jcp-sigi@pluto.plala.or.jp)

## つぼみ園 臨時保育士の処遇改善

### 時給賃金から日給制へ

11月17日におこなわれた全員協議会で、来年度



から障害児の通園施設「つぼみ園」の臨時保育士の処遇改善の内容が明らかになりました。

飯能市は行政改革の名の下に職員削減をすすめ、保育士が退職しても臨時保育士で対応してきたために、07年には11ヶ所ある公立保育所の約半数が臨時保育士となりました。

参院埼玉選挙区  
予定候補者を発表  
伊藤岳



くらしたいと思うことも許されない」「早く死ねと言わんばかりの政治だ」県民は悲鳴をあげています。こうした皆さんの声を届けるべく、「一回の選挙で国会に駆け上がる」「定数3議席の一つに風穴を開ける」決意です。政権が変わっただけでは政治は変わりません。一緒に政治を前に動かしていこうではありませんか。ご支援をお願いします。



寒さが増し、火災の多発する時期を迎えています。

### 飯能消防団

#### 火災に備え特別点検

す。飯能市消防団の特別点検が11月26日、埼玉西部広域消防本部で行われました。早朝より消防本部に集合した第1分団から11分団までの団員370名は、正装姿で7時50分から入場行進、服装規律の点検、小隊や中隊に別れ号令に合わせて規律正しく行進。また、消防車や小型ポンプによる放水訓練など日頃の訓練の

成果を披露しました。既に岩沢地区では不審火と思われる火災が3件も発生しており特別警戒も行われていますが、火災時期に備え、一致団結した消防団の活動に市民の生命や財産を守る頼もしさがあふれていました。



今回の特別点検では優良分団に第7分団、準優良分団は第5分団が選ばれました。

等級	日額給
1級	7,150円
2級	7,250円
3級	7,350円
4級	7,450円
5級	7,550円
6級	7,650円
7級	7,750円
8級	7,850円
9級	7,950円
10級	8,050円

#### 一般質問や予算要求で均等待遇求めて

日本共産党議員団は「保育士の処遇に差を持ち込むことは、労働意欲にもかかわり、人間関係にも影響が出る。子育ては保育者集団が大事である」として、臨時保育士の処遇改善を求めました。

#### 一時金支給と昇給も

市は重い責任と専門性を認め、07年には担任手当を支給。08年には昇給と年間二ヶ月の一時金の支給を、09年には日額制から月額制に改善し、年間200万円を超えるまでになりました。しかし、つぼみ園の臨時

保育士は勤務時間が少ないことを理由に対象外になっていました。

日本共産党は議会でも「同様の改善」を求めてきた中で、2010年4月から「つぼみ園」で働く保育士も、期間給から日額制(上表)になり、年に一度の昇給と一時金(二ヶ月分)の支給をすることが明らかになりました。

### 波 紋

日本共産党第25回党大会決議案は、総選挙が開いた新しい情勢のもとで、農協、医師会、歯科医師会、自治体関係者など、従来の保守層のなかに大変動が起こっていると指摘しています▼先日日本共産党を代表として志位委員長が初めて、全国森林組合大会であいさつしました。そこで志位委員長はドイツの森林面積が日本の4割にすぎないにもかかわらず、木材自給率は100%を超え、林業が130万人の雇用を生み出しており、ドイツには「限界集落」は存在しないといわれていることを紹介しています▼75%が山林である飯能市にとっても参考になる話です。林業を地域経済を支える大きな柱の産業、低炭素社会を実現する不可欠な産業として位置づけることができれば環境、雇用を守る林業を豊かに発展させることができます。そのためにも外材輸入拡大政策から、国産材需要拡大政策への転換が切実にもとめられています。

# 自治体の役割と地域運動

## みんなの会が総会

市政を変えるみんなの会は28日、総会と学習会をひらきました。

会の名称を「住みよい飯能市をつくるみんなの会」と変更し、市政研究や調査、対市交渉などを



市政を変えるみんなの会は28日、総会と学習会をひらきました。

運動の積み重ねが、市長選でも肉薄するところまでの闘いができるようになった」と1954年からの市長選挙を振り返りました。また、「民主的

自治体問題研究所埼玉理事、元狭山市職員組合委員長で、2002年に市長候補として善戦した竹内良一さんが講師として、「自治体の役割と地域運動」と題した講演を行いました。

### 自らの力で財政分析と政策作りを

竹内さんは、入間市との合併問題、駅前再開発問題などの壮大な住民運動の経験語り、「住民

市政とは何かという財政の使い方と政策決定システムが住民参加で行われているかどうか」と語り、市民による財政分析や政策作りの必要性を強調しました。そのなかで杉戸町の杉戸のまちづくりを考える会などの事例を紹介。「市政の問題

## 飯能・日高地労連大会 争議相談増える 悩んでいないで相談を

飯能日高地域労働組合（大野真議長）は2

6日、定期大会を開き、地域の労働者の賃金労働条件の改善や地域住民運動など交流、今後の運動方針を決定しました。新たにJMIUの分会が加入したことが報告されました。

深刻な不況で雇用状況が悪化する中で、派遣切りなどの相談が増え、争議も行われています。また、労働者が無権利状態におかれ、ある幼稚園では教師の妊娠を理由に不当に解雇されようとしていることなど考えられないような実態が報告されました。



でも、市議員には、頼りにするけどあまり当てにし過ぎないで自分たち自信で調査し、自らの頭で考えることが力をつける上で重要。財政問題や福祉問題など分野ごとに

### 原市場中学校裏山林 自然観賞園と林業体験の森に

原市場中学校に隣接する山林は、中学校の教室、プール、山際の校庭を日陰にしていることなど、教育環境の阻害要因となっていることから、この山林を五七〇万円取得し、整備と活用を行うことになりました。

#### （整備方針）

山林取得の第1の目的が教育環境の改善であることから、取得した山林については間伐を進め、日照の確保に努めていきます。

#### （活用）

取得した山林の活用については、校庭側の斜面は、カタクリなどの山野草の自然観賞園などにしていくとともに、尾根沿いについては、林業体験できるような場所としていく予定です。

### 小規模校で特認校制度始まる

小規模特認校は、人口動態、少子化、学校を取り巻く環境等を踏まえ、児童数が著しく減少する事が予想される小学校において、特色ある教育活動を受けることを希望する保護者の児童に対し、一定の条件のもと特別に他の通学区域からの就学を認め、学校規模の適正化と活性化を図ることにしています。

対象校は、平成22年度においては、吾野小学校と名栗小学校で実施します。

#### 就学のための条件

(1) 児童とその保護者が、小規模特認校の教育活動などについて理解し、協力できること。

(2) 通学に当たっては、保護者の負担と責任において行うこと。

(3) 原則として1年以上の通年通学とせること。

(4) 児童の心身の状況が、遠距離通学に耐えられること等です。教育委員会及び学校による保護者と児童の面談を実施し、就学の承認をします。

#### 申請期間

平成22年1月12日から平成22年1月18日までとし、面談を経た決定を平成22年1月末日までに通知し、4月1日から実施することになっています。



上：吾野小 下：名栗小